# （別添）

旧耐震基準の木造住宅の除却における容易な耐震診断調査票

## 調査日時： 　　　　　　年　　　　　　月　　　　　　日 午前・午後 　　　　　　　時

## 調査者氏名： 　　　　　　　　　　　（資格種別　１級・２級・木造　資格番号　　　　　　　　　）

Ⅰ） 建築物の概要

１．建築物の所有者：

２．建築物所在地：

３．階数：　平屋・２階

Ⅱ） 前提条件の確認（いずれも必須） チェック欄

|  |  |
| --- | --- |
| 木造住宅である |  |
| 昭和56年5月31日以前に新築の工事に着手した |  |

Ⅲ） 一見して倒壊の危険性があると判断できる項目

（１以上ある場合は倒壊の危険性があると判断）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 建物全体 | 全体又は一部に崩壊がある |  |
| 全体又は一部に傾斜や変形がある |  |
| 地盤・基礎 | 地盤沈下が生じている |  |
| 基礎がコンクリート以外（玉石、石積み、ブロック等）である |  |
| 基礎がコンクリートであり、ひび割れや欠損が見られる |  |
| 老朽・腐朽 | 柱、梁、壁、土台等の構造部に白蟻の被害がある |  |
| 柱、梁、壁、土台等の構造部に腐朽が見られる |  |
| 柱、梁、壁、土台等の構造部に損傷や欠損が見られる |  |

Ⅳ） 壁の割合

一見して倒壊の危険性があると判断できない場合でも、壁の割合が0.8未満である場合は、 倒壊の危険性があると判断できるものとする。

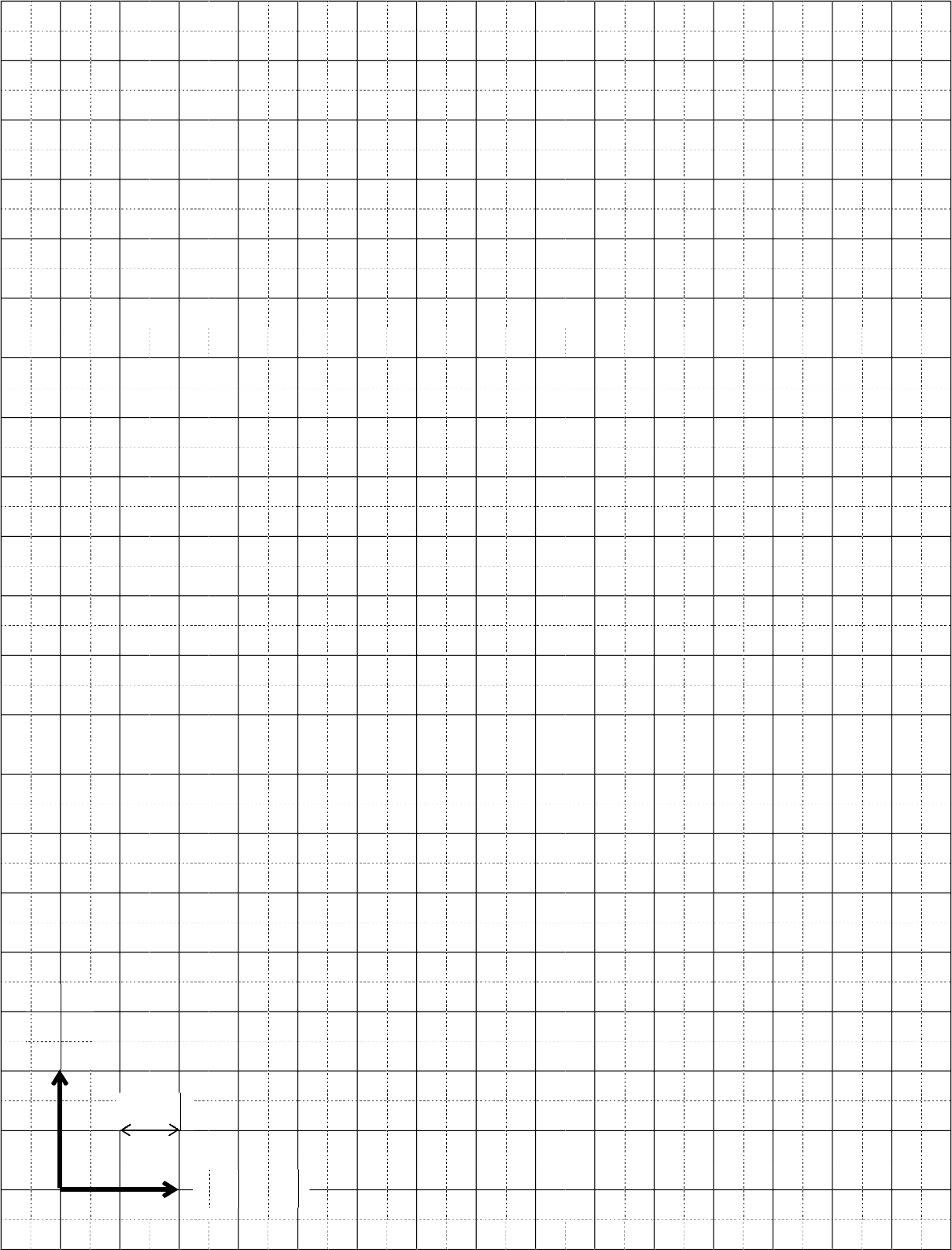
（イ） （ロ） （ハ） （二） （ホ）壁の割合

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 方向 | 壁の長さ（ｍ） | 建面（㎡） | イ／ロ | 必要値 | ハ／ニ |
| Ｘ |  |  |  |  |  |
| Ｙ |  |  |  |  |  |

壁の長さの計測

Ⅳ）壁の割合 記入用紙

（別紙）

1ｍ

**Ｙ方向**

### Ⅹ方向

（イ） 壁の長さの合計

① Ｘ（横）方向 ② Ｙ（縦）方向

ｍ ｍ

①

②

①②のうち**小さいほう**を記入してください。

ｍ

イ

（ロ） 面積

㎡

ロ

（ハ） 単位面積あたりの壁の長さ

÷ ＝

イ

ロ

ハ

（ニ） 必要な壁の長さ

ｍ

二

下の表から該当するものを選んで記入してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 階数  屋根の種類 | 平 家 | ２階建 |
| 軽い屋根  （鉄板葺・石綿板葺・スレート葺等） | ０．２０ | ０．５２ |
| 重い屋根  （かや葺・瓦葺等） | ０．２７ | ０．５９ |

（ホ） 壁の割合

÷ ＝

ハ

ニ

ホ